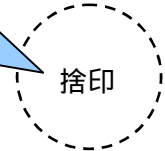


# 7号 記入上の注意

押印下さい。(記載の誤りを訂正する際の訂正印を省略するため。)



中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定による認定申請書

福井市長 殿

残高証明書は直近(申請日より1か月以内)のものと前年のもので土日祝に関係なく日付を揃える。(月末に限らない。)つまり××は全て同じ日付

全ての [ ] に同一の指定金融機関名を記入。(2行以上の指定金融機関の合算でも申請することが可能。)

申請者  
住所  
氏名

私は、 [ ] が経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、下記のとおり、借入の減少が生じ、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

記

A、Bには直近の借入債務残高で記入。

10%以上であること

1 金融機関からの総借入金残高のうち、 [ ] からの借入金残高の占める割合

$$\frac{A}{B} \% (A/B)$$

A [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日の [ ] からの借入金残高

[ ] , [ ] 円

B [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日の金融機関からの総借入金残高

[ ] , [ ] 円

Cには直近借入債務残高の残高証明書の日付、値。  
Dには前年借入債務残高の残高証明書の日付、値。

10%以上であること

2 [ ] からの借入金残高の減少率

$$\frac{D - C}{D} \times 100 \%$$

C [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日の [ ] からの借入金残高

[ ] , [ ] 円

D [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日(Cの前年同期を記入のこと)の [ ] からの借入金残高

[ ] , [ ] 円

Eには直近借入債務残高の残高証明書の日付、値。  
Fには前年借入債務残高の残高証明書の日付、値。

0%を超えていること

3 金融機関からの総借入金残高の減少率

$$\frac{F - E}{F} \times 100 \%$$

E [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日の金融機関からの総借入金残高

[ ] , [ ] 円

F [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日(Eの前年同期を記入のこと)の金融機関からの総借入金残高

[ ] , [ ] 円

(留意事項)

本認定とは別に、金融機関及び福井県 [ ] 認定を受けた後、本認定の有効期間 [ ] 保証の申込みを行うことが必要です。

[ ] には、当座貸越、手形貸付、証書貸付、代理貸付(政府系金融機関からの代理貸付)の利子を省いた残高を記入。(商業手形、支払承諾、個人事業所等の住宅ローンは含めない。)

認定番号 福商振認第 [ ] 号

年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間: [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日から [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日まで

福井市長 東村 新一